

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第1回こども部会				
(2) 開催日時	平成30年5月25日(金) 9:30~11:30				
(3) 開催場所	蒲田地域庁舎 5階 小会議室1				
(4) 出席した委員、事務局等	委 員 <敬称略>				
	宮崎 渉	今岡 久美子	藤野 絵里子	志村 陽子	谷村 淳子
	宮嶋 祐紀子	吉田 紀代美	佐藤 渉	小池 優子	棧敷 洋子
	小野 英次郎	大岩 香代子	馬場 衣久美	島村 勝	
	区職員				
	小鳥 彰子	本多 あゆみ	新屋 敬子	大島 涼	田島 吉延
	中治 謙一(秋山 亮代理)				
	事務局：林 俊子、小林 善紀、森崎 恵里、滝本 裕弥、				
	欠席者：福田 功志、石川 智春、野澤 景子、関 香穂利				
	(5) 内容・要旨	<p>1 部会長あいさつ 自立支援協議会委員として、2年目となります。これだけ多くの方が大田区の子どもの福祉に関わっているということに感動している。多角的な視点で、忌憚のない意見を出し合えればと思います。</p> <p>2 自己紹介 自己紹介シートに基づき、各委員の所属団体の紹介や今年度のこども部会の活動に期待することなど情報共有した。</p> <p>3 連絡・報告事項</p> <p>(1) 平成29年度第3回本会・平成30年度第1回本会の報告 29年度のこども部会の成果物として、発達支援マップを形にすることができたことが大きかった。また本会では、多くの委員より、今後、こども部会と連携をしてみたいという声があがった。 30年度第1回本会については、各専門部会と連携を強化するための具体的な提案があり、合同部会を実施していくことになった。</p> <p>(2) 平成30年度第1回運営会議の報告 本会を受け、合同部会の具体的な実施に向けて検討し、9月に実施することになった。のみ委員の方たちにも多く参加してもらうため、各専門部会にてアンケートを実施する。 また、各部会が個別に連携し、合同で部会を行うことも提案があった。例えばこども部会と防災部会の連携などが想定される。事業者の立場でいうと事業運営中の災害について、地域の防災体制がどのようになっているか、地域の消防や警察とも連携していかなければいけない。就労支援部会でいうと、18歳以上の障がい福祉施設等のサービス終了後の夕方の時間の支援について、欠如している点が課題となっている。就労支援部会にて放課後等デイサービスの実態を情報提供することも可能である。</p>			

	<p>今年度は、合同部会の取り組み等を通じて、協議会は委員一人ひとりの糸を太くしていくこともテーマとしていく。</p> <p>(3) 防災部会より 昨年度、防災部会の公開学習会にて講師を依頼した鍵屋氏をお呼びして、今年度も公開学習会の実施を予定している。</p> <p>(4) おおた TS より 毎月第 3 木曜日の 18 時半より、障がい者総合サポートセンターにて実施している。触法障がい者への支援を目的に、毎月事例検討や講演会を行っている。</p> <p>(5) 品川特別支援学校より 品川特別支援学校の学校公開を 6/4 に予定している。</p> <p>(6) 特別支援学級の合同運動会について 10 月の第一土曜日にふれあい蓮沼にて実施予定。</p> <p>(7) 子育て支援課より 学童保育の夏休みの申請を HP に掲載した。お問い合わせのあった際には、情報提供ください。</p> <p>4 本日の検討事項</p> <p>(1) 作業部会メンバーについて 次の 5 名の委員に依頼する。宮崎渉部会長、今岡久美子委員、谷村淳子委員、栈敷洋子委員、小野英次郎委員</p> <p>(2) 編集委員の選出 矢口特別支援学校の宮嶋祐紀子委員が選出された。</p> <p>(3) 年間スケジュールについて 原則、第 2 週の金曜日の午前中に開催することになった。</p> <p>(4) 司会・書記について 司会については、作業部会の委員が担当する。書記は、それ以外の委員にて持ち回りで担当することになる。</p> <p>(5) 合同部会の開催に向けて 合同部会実施の候補日について、アンケートを実施。実施日はアンケート結果をもとに運営会議にて決定する。</p> <p>(6) 前年度までのこども部会の取り組みについて確認</p> <p>① 発達支援マップをグループワーク等行い、2 年かけて作成してきた。</p> <p>② 大田区児童発達支援地域ネットワークとこども部会との合同研修会を行った。</p> <p>③ 発達障がい児・者支援計画の点検について、進捗状況評価を確認し、現状把握や意見交換を行った。</p> <p>5 平成 30 年度の検討課題の確認</p> <p>① 発達支援計画が、今期の施策推進プランに盛り込まれた。こどもに関</p>
--	---

する部分の内容は部会として確認する必要があると感じる。子ども・子育てかがやきプランを確認しても良いと考えている。

#### ②発達支援マップの作成について

昨年度作成したマップをどのように活用していくか課題となる。色々なところで活用してみて、改良すべき点については行っていく。

現在のマップには、連絡先の記載がないことなど、改良点がでてくることが想定される。

大田区児童発達支援地域ネットワークでは、今年度も発達支援応援フェアの開催を予定している。その際にマップを活用してみることも想定している。

学齢期の方は障害児支援利用計画をセルフで作成している方が多い。そういった際に「サポートブックかけはし」と組み合わせて活用できるようになると良い。「かけはし」の内容の振り返りも必要だと考えている。現行のものは、相談したい人側ではなく、相談を受ける側の目線になっている印象も受ける。また肢体不自由の方への支援内容や発達障害の方への支援内容、医療的ケアが必要な方への支援内容といった視点も薄い印象がある。そこも改良が必要である。

#### ③事例検討やゲストスピーカー

昨年度、相談支援部会での個別支援会議にて、こども部会との合同検討ということで参加し、とても良い機会となった。今年度も合同での事例検討や、こどもに特化した事例検討も必要だと考えている。取り組みたい事例があれば作業部会や事務局を經由して提案していく。

### 6 次回日程

平成 30 年 6 月 15 日（金） 9 時 30 分～11 時 30 分

場所 消費者生活センター 第 6 集会室